

2017

西いぶり広域連合議会会議録

第3回臨時会

平成29年7月31日開会

平成29年7月31日閉会

西いぶり広域連合議会

平成29年第3回西いぶり広域連合議会臨時会審議日程

(会期1日間)

月 日	曜	会議区分	会議時間	会議内容
7. 31	月	本会議	14:00~14:24	開会、会期の決定、議案の説明、質疑、議案の議決、閉会

平成29年第3回西いぶり広域連合議会臨時会議決結果表

会期 平成29年7月31日（月）（1日）

番 号	件 名	提 出 年 月 日	付託委員会	議 決 結 果
			付託年月日	議決年月日
議案第 1 号	平成29年度西いぶり広域連合一般会計 補正予算（第1号）	29. 7. 31		原 案 可 決
				29. 7. 31
その他会議に 付した事件	会期の決定			決 定
				29. 7. 31

目 次

第1号（平成29年7月31日）

議事日程	1
会議に付した事件	1
出席議員	1
説明員	1
事務局出席職員	1
開会宣告	1
諸般の報告	1
○佐賀議会議務局長	1
日程第1 会議録署名議員の指名（佐藤 恣議員、山田 秀人議員）	2
日程第2 会期の決定（7月31日 1日）	2
日程第3 議案第1号（議案説明）	2
○小泉事務管理者	2
○小久保 重孝議員	2
○佐久間共同電算室主幹	3
○高橋事務局長	4
○小久保 重孝議員	4
○佐久間共同電算室主幹	5
○高橋事務局長	5
○小久保 重孝議員	5
○佐久間共同電算室主幹	6
閉会宣告	6

平成29年7月31日（月曜日）

第 1 号

平成29年 第3回臨時会

西いぶり広域連合議会会議録 第1号

平成29年7月31日(月曜日)

午後 2時00分 開会

午後 2時24分 閉会

○議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議案第1号

広域連合長 青山 剛
副広域連合長 村井 洋一
副広域連合長 佐藤 秀敏
副広域連合長 真屋 敏春
事務管理者 小泉 賢一
代表監査委員 松岡 喜代孝
事務局 局長 高橋 淳
総務課 課長 田所 和久
総務課 主幹 佐藤 学
共同電算室 主幹 佐久間 樹

○会議に付した事件

- 1 諸般の報告
2 日程第1
3 日程第2
4 日程第3
5 委員会付託省略

○事務局出席職員

事務局 局長 佐賀 孝志
議事課 課長 瀧 浪 孝行
議事係 係長 岩間 光城
議事課 主査 加藤 優嗣
書 記 佐藤 俊文

○出席議員(15名)

議長 15番 金濱 元一
副議長 14番 寺島 徹
1番 下道 英明
2番 五十嵐 篤雄
3番 森 太郎
4番 佐藤 恣
5番 山田 秀人
6番 大高 一敏
7番 小田中 稔
8番 柏木 隆寿
9番 羽立 秀光
10番 辻 弘之
11番 二瓶 秀幸
12番 小久保 重孝
13番 国本 一夫

午後 2時00分 開会

○議長(金濱 元一) ただいまから、平成29年第3回西いぶり広域連合議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

諸般の報告をさせます。

佐賀事務局長

○議会事務局長(佐賀 孝志) 御報告申し上げます。

今回提案されております案件は、広域連合長提案にかかわるもの1件でございます。

○説明員

次に、地方自治法の規定に基づき、議案説明のため、広域連合長ほか関係役職員の出席を求めてございます。

以上でございます。

○議長(金濱 元一) 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員に、佐藤 忞議員並びに山田 秀人議員を指名いたします。

○議長(金濱 元一) 次は、日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今臨時会の会期は、本日1日とすることに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(金濱 元一) 異議なしと認めますので、会期は1日と決定いたしました。

○議長(金濱 元一) 次は、日程第3 議案第1号平成29年度西いぶり広域連合一般会計補正予算(第1号)を議題といたします。

議案第1号 平成29年度西いぶり広域連合一般会計補正予算(第1号)

○議長(金濱 元一) 提出者の説明を求めます。

小泉事務管理者

○事務管理者(小泉 賢一) ただいま議題となりました議案第1号平成29年度西いぶり広域連合一般会計補正予算(第1号)について御説明を申し上げます。

このたびの補正は、多子世帯にかかわる北海道の保育料軽減支援事業への対応及び平成30年度からの国民健康保険事務の都道府県単位化への対応のためシステム及びネットワークを改修するほか、西胆振地域廃棄物広域処理施設の

更新に係る循環型社会形成推進地域計画の策定について、所要経費を措置するものでございます。

第1条では、歳入歳出それぞれ1,504万8,000円を追加し、予算総額を24億2,655万9,000円とするものでございます。

補正の内容でございますが、4ページの歳出をごらんいただきたいと存じます。第3款情報処理費では共同電算システム運用経費として、第2子以降の3歳未満児に対する保育料無償化に対応するための子ども・子育て支援システムの改修及び北海道国民健康保険団体連合会が北海道クラウドとして運用する市町村事務処理標準システムを利用するための西いぶりデータセンター内ネットワークの改修に係る委託料について755万2,000円を計上してございます。

第4款ごみ処理費では循環型社会形成推進地域計画策定業務等委託料として、廃棄物広域処理施設の更新に向け循環型社会形成推進交付金の申請に必要な地域計画の策定等に係る委託料について、749万6,000円を計上してございます。

次に、2ページにお戻りいただき下段の歳入でございますが、第1款分担金及び負担金は歳出で御説明申し上げました措置に伴う共同電算及び廃棄物処理にかかわる構成市町からの負担金を追加してございます。

以上で、説明を終わらせていただきます。

よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長(金濱 元一) 質疑を行います。質疑はありませんか。

小久保 重孝議員

○12番(小久保 重孝) はい、何点か質問させていただきます。

まず、情報処理費でございます。子ども・子育て支援システム改修ということで伊達の市議

会のほうでも先日、本会議があつて内容については説明を受けておりますが、こうしてまた共同電算のシステム経費がこれだけ多額にかかるんだなということでちょっとため息が出ますが、これはやはりこのぐらいの費用がかかるのか、その根拠はどうなっているのかお知らせいただきたいのと、あわせて伊達市はこれが北海道独自の政治的判断ということの中で3月に通知がありました。広域でも同様なのかなと思っておりますが、本市においてはこのシステム経費のほかに保育料が約400万ぐらい、本市の場合は増額になりました。多分室蘭市さんは1,000万円以上になっているんじゃないかなというふうに考えておりますが、このあたり、中身は非常にいいことなんです、連絡が非常にちょっと悪いんじゃないかなというふうに思っております、いつごろこの状況を聞いたのか、またこうした中身について中身はいいんだけど、増額に対してどのようにお考えになっているか、もしよろしければ連合長からお答えいただきたいなと思っております。

それから市町村の事務処理標準システムの北海道クラウド対応経費の関係でございます。このことについては一元化を目指しておりますのでそのことについて異論はないんですが、たしかこの先で、いわゆる帳票の印刷や発送などが広域で行っている仕事で大きなところがございます。事前の説明の中で、この印刷、発送に関してまだちょっと未確定ということがございましたので、もし現時点でわかっていることがあればお聞かせをいただきたいと思っております。

あとごみ処理経費の関係では循環型社会形成推進地域計画の策定ということで、交付金に向けてこれを策定するのは当然だと思いますし、これを進めていくんだなというふうに思っておりますけれども、本広域議会はこの今の施設をつくってこれだけの経験を得た中で新しいその地域計画というものをどのような形で想定をし

てつくられていくのかというところが大事なかなというふうに思っております。特にいわゆるリデュース、リユースが進まないという中で環境省が示しているものでもありますし、この辺については大きなところでどのような考え方を持って計画を策定していこうとされるのか、その辺についてお伺いをしたいと思います。

○議長(金濱 元一) 答弁を求めます。

佐久間共同電算室主幹

○共同電算室主幹(佐久間 樹) 初めに、子ども・子育て支援システムの経費の内訳でございますけれども、まず今回の改修につきましては、4団体が対象であるということとなっております。それと北海道独自の仕組みであるということもございまして、パッケージの形で導入しています共同電算システムに対してはパッケージが提供されるということではなく、個別改修案件ということになりますので、いわゆるパッケージの導入団体での案分効果が発生しないということもございまして、今回、475万2,000円という経費となっております。

次に、通知のタイミングのお話ですけれども、広域のほうには、すいません、日付については確定的なところがあれなんですけれども、ことし3月には入ってはきてございます。直接の通知というのは私どものほうにはございませんので、各町側の原課側に受け取った内容を各町の電算経由で私どもでいただくと、その内容を受けましてメーカーのほうと協議をしまして、まずは現行システムでの回避策というところ、4月1日施行ということもございまして回避策について協議をいたしまして、その策につきましては各町側、電算を通して原課のほうにお知らせをしております。各町のほうで協議、検討していただきまして回避策での対応は可能ではあるけれども、なかなか組み合わせですとか、お子さんの認定というか3子目と言ってもかなり複雑なども組み合わせがあるというこ

とでシステム化が必要であるというのを5月に各町のほうからいただきまして予算、補正を組まないといけないだろうということで、システム改修が必要だろうということで今回の補正となっております。

続きまして、市町村事務処理標準システム北海道クラウドの帳票出力に関してでございますけれども、今回、整備につきましては、北海道国民健康保険団体連合会、道国保連のほうでクラウドとして整備をすると、各町におきましてはそれを利用する形での導入ということになります。納付書等大量印刷物につきましては現在は広域連合のほうで一括処理をしております、そのルートに乗せたいということで各市町、道国保連、私どものほうで協議を続けてきましたけれども、今月に入りまして道国保連側、というよりは標準システム側と言ったほうがよいですね、で用意されてます帳票出力用のシステムが現在、私どものほうで利用しています帳票出力用のシステムを利用できないという結論が出まして、現在、各町、道国保連含めて今後どう出力ものを出していくのかということをするだけ経費をかけず、各町側の手間をかけずどう対応するかというのを、現在、検討している最中でございます。

以上でございます。

○議長(金濱 元一) 高橋事務局長

○事務局長(高橋 淳) 地域計画についての御質問にお答えいたします。

地域計画、循環型社会形成推進というタイトルのおり当然ながらこれはリサイクル率や最終処分場のごみ量のそういう数値の削減目標を定めて、それに向かって実行できるような計画というものが求められております、でございますので、各町の施策と整合性をとりながら、コンサルの力をかりて各市や町と十分協議をして適切な規模等になるように計画を作成していきたいと考えてございます。

以上でございます。

○議長(金濱 元一) 小久保 重孝議員

○12番(小久保 重孝) そうしましたら子ども・子育ての支援システムの関係はわかりました。うちの市の担当に聞いても非常に複雑な中身になるので、やっぱりプログラムにしないとミスが出てくるだろうということでしたから、これはこれで支出は仕方ないと思うのですが、ただ願わくば、それこそパッケージで北海道からプログラムが、全て予算もついてくるというふうになればこうやって各市町の負担もなくていいのかなというふうに思っております。さらに言えば国がもっともう少ししっかりその辺を見てくれればいいのかなというふうに思っておりますが、この件に関しては了解いたしました。

それで、クラウドに関しての関係では今、お話しがあったように印刷に関しては機器が合わないということで、それが使えないということがわかったということで、そうしますと昨年もたしか予算が9月に示された中でのやりとりで見ますと、たしか帳票というかいわゆるその封緘封入機器なんかはそろそろ期限を迎えてくるということの中でたしかそれにかかる分は5,500万円ぐらいだったでしょうか、その数字がひとつどうなるのかなということが結論として出さなければならないのかなというふうに思うのですが、今のお答えの先の部分は今、これからということでしょうか、どこが一応リミットなのか、どんな日程でこの後進んでいくのかお聞かせをいただきたいと思っております。

あと1点、ごみ処理の関係は今、策定に関しての内容を簡単に御説明いただきましたが、例えば1点申し上げますと登別市さんの地域計画には、登別市さんの地域計画の中には広域ごみ処理施設との連携という部分が書かれています。また、将来的な施設老朽化に当たってどう取り組むかということも短い文章ですけども、一文書かれている部分があります。今回残念な

がら登別市さんまたは白老町さんと一緒に進めることがかなわないとしても、こうしたその地域計画の中に、そういった部分は文書として盛り込む可能性があるのか、いかがかということについてお伺いをしたいと思います。いかがですか。

○議長(金濱 元一) 佐久間共同電算室主幹
○共同電算室主幹(佐久間 樹) 連帳プリンターが使えないということでの今後のリミットということでございますけれども、現在、平成30年4月が新しい国保の制度として開始をされるということで、現在、ネットワーク含めて業務システムのほうも各市町におきまして整備を始めているというところでございます。スケジュールでいきますと、大まかなスケジュールでいきますとネットワークは8月末になります。

ただ、業務システム側としましては、来年、これから来年2月までにかけてデータの移行、新しいシステムになりますのでデータの移行をしていくと、その中で確認作業を含めやっていくということになりますので、私ども今の考えとしては遅くとも年内までには結論を含め出す必要があるだろうというふうに考えてございまして、プリンターが使えないというのが国保の標準システムのほうから直接の出力はできないということございまして、1段クッションをかませるとまあできるだろうというところが今、考えてございます。ただ、その仕組みにしますと納付書というのはコンビニ収納している都合上、細かいバーコードを打っているという状況がございまして、代替手段でやりますとバーコードが潰れる可能性があるというところもありまして、現在そこも含めて今後確認をしてまいりたいと考えてございます。そこも含めことし中ということで考えてございます。

以上でございます。

○議長(金濱 元一) 高橋事務局長

○事務局長(高橋 淳) 地域計画にさらなる

広域化の記述を盛り込むかという御質問でございましたが、これからつくるといってかなり遠い将来のお話かなと思います。

そのとき、今後の人口動態や経済状態によってやはりさらなる広域化というのは検討を避けずは通れないところかなと考えてはございますが、今後、先ほど申し上げたとおり担当者レベル、さらに副市町長レベル、さらに首長レベルでの検討、協議を踏まえた上で判断させていただきたいと考えてございます。

以上でございます。

○議長(金濱 元一) 小久保 重孝議員

○12番(小久保 重孝) これで3回目なので最後でございます。最後の今、循環型社会の関係はわかりました。これからということでございますが、願わくばそれこそ登別市さんや白老町さんと一緒にその計画を進められたらいいなと思っておりますが、これはこれでいろんな事情があるので了解をいたしました。

それで、今、クラウドの関係の印刷の関係ございました。事前の説明のときにも要するにクラウドでデータ自体は一元化されたとしても、その先のいわゆる業務はやっぱり近場にあったほうがいいんじゃないかという意見を私は感じました。ですから、今、バーコードでの何と云うんですかね、精細がないということだと思っておりますが、それでも最近逆に読み取り側のカメラが非常にいいものですから、それでも可能性をぜひ探ってもらいたいなと思ってます。特に電算で雇用も少なからず生んでおりますし地域としてこうした仕事を全てとられてしまうようなイメージは、できれば仕事は残していきたいなとそんなふうを感じているところであります。

ですから来年の4月ということでございましてから時間もありませんが、ぜひこの辺については内部でもお話しをし、また各連合長、副連合長とも協議を重ねていただいて地域から仕事が

なくなるという点もぜひ検討いただきたいなというふうには思っているところです。もし御答弁があればお聞かせいただきたいと思います。

以上で終わります。

○議長(金濱 元一) 佐久間共同電算室主幹
○共同電算室主幹(佐久間 樹) 連帳絡みも含め地域の雇用も含めということでございます。

できるだけ我々のほうで処理をするというのは個人情報や長距離運ぶというのも実際危険な問題もあるだろうということもありますので、私どものほうでできるだけできるように、あとそのコストをかけずにできるように今後、検討してまいりたいと思います。

以上です。

○議長(金濱 元一) ほかに質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(金濱 元一) ないようですので、これもちまして質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

本件は、委員会付託を省略することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(金濱 元一) 異議なしと認めますので、そのように決定いたしました。

お諮りいたします。

本件は、原案のとおり可決することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(金濱 元一) 異議なしと認めますので、そのように決定いたしました。

○議長(金濱 元一) 以上で、今臨時会に提案されました案件の審議は終了いたしました。

これもちまして、平成29年第3回西いぶり広域連合議会臨時会を閉会いたします。

午後 2時24分 閉会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、
ここに署名する。

議 長 金 濱 元 一

署 名 議 員 佐 藤 忞

署 名 議 員 山 田 秀 人